

すぐそばにいる、頼もしい航空自衛隊
～24時間365日、上空を見上げています～

航空自衛隊

2024年事務官等採用案内

国家公務員採用一般職試験
(大卒程度試験、高卒者試験)
防衛省専門職員採用試験



Japan Air Self-Defense Force

防衛省 航空幕僚監部
人事教育部 補任課 職員人事管理室
〒162-8804 東京都新宿区市谷本村町5番1号
TEL: 03-3268-3111 (代表) 内線: 60278
URL: <https://www.mod.go.jp/asdf/>

航空自衛隊の
情報はこちら
から!!





中国戦闘機(Su-30) (2017年12月)

●中国の軍事活動範囲の更なる拡大

中国は、東シナ海をはじめとする海空域において、軍事力を拡大活発化させています。また、太平洋や日本海においても軍事活動を拡大・活発化させており、特に太平洋への進出は近年高い頻度で行われ、その経路や部隊構成が多様化しています。こうした中国の軍事動向については、国防政策や軍事力の不透明さと相まってわが国を含む地域と国際社会の安全保障上の強い懸念となっており、今後も強い関心を持って注視していく必要があります。



(2017年11月)

●北朝鮮の弾道ミサイル発射

北朝鮮は、近年、前例のない頻度で弾道ミサイルの発射を行い、同時発射能力や奇襲的攻撃能力を急速に強化してきました。また、核実験を通じた技術的成熟度を踏まえれば、弾道ミサイルに搭載するための核兵器の小型化・弾道化をすでに実現しているとみられます。このような北朝鮮の軍事動向は、わが国の安全に対する重大かつ差し迫った脅威であり、地域及び国際社会の平和と安全を著しく損なうものとなっています。

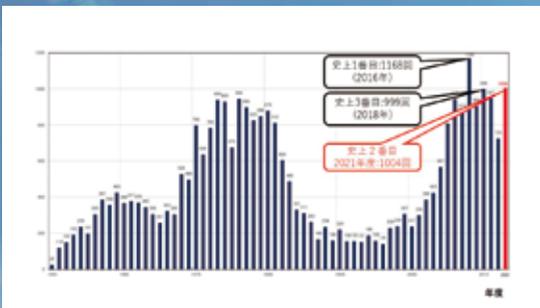


ロシア戦闘機(Su-35) (2019年2月)

●ロシアの軍事活動の活発化

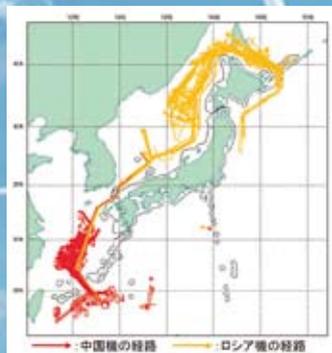
ロシアは、軍の近代化を推進し、軍の活動を活発化させています。北方領土を含む極東においても軍事活動を活発化させる傾向にあり、その動向を注視していく必要があります。

年度緊急発進回数の推移



出典:統幕公表資料(令和4年4月)

緊急発進の対象となった飛行パターン例



CONTENTS

任務等

航空自衛隊の任務	P3
航空自衛隊の事務官、技官、教官の役割	P5

組織と勤務地

航空自衛隊の編成	P6
航空自衛隊の事務官等の勤務地や異動	P7

業務内容の紹介、先輩メッセージ

一般職試験(事務官)	P9
一般職試験(行政職技官・研究職技官)	P15
防衛省専門職員試験(英語)	P19

キャリアパス

P23

人材育成

一般職試験(大卒程度)	P25
一般職試験(高卒者)	P27
防衛省専門職員試験(英語)	P28

各種施策への取組み

ワークライフバランスへの取組	P29
----------------	-----

処遇・採用に関する Q&A

勤務条件・福利厚生	P31
Q&A	P33

航空自衛隊の任務

空と宇宙を守り抜く

わが国では、地上における警察、海における海上保安庁に相当する「空の警察力」が存在していません。そのため、航空自衛隊は、平時から有事まで一貫してわが国の空の平和と安全を担う唯一の組織となっています。

①警戒監視

24時間365日、1日も休むことなくわが国周辺空域の警戒監視を実施しています。



E-767 早期警戒管制機

②対領空侵犯措置

警戒監視により発見した国籍不明機が領空侵犯するおそれがある場合、これに対処しています。



F-35戦闘機

③弾道ミサイル防衛 (BMD)

わが国に飛来する弾道ミサイル等の対処にあたっては、海上自衛隊のイージス艦と航空自衛隊のペトリオット PAC-3 で対処します。

BMD整備構想・運用構想(イメージ図)



令和4年度版防衛白書P252転載

④宇宙・サイバー・電磁波の領域での対応

「宇宙」、「サイバー」、「電磁波」など、航空自衛隊の活動領域は広がりをを見せています。航空防衛力は領域を跨いだ統合運用の架け橋であり、航空自衛隊は、宇宙システムが支える現代社会を守るための体制を構築しています。



⑤その他の任務や活動

自然災害などの災害の発生時には、航空防衛力の特長である即応性、多目的性を活かして国民の暮らしを守ります。航空機などによる人員・物資の輸送、偵察や連絡要員の派遣など様々な活動を行っています。

また、日米共同訓練など、日米の連携強化を図り、日米同盟全体の抑止力・対処力を一層強化し、その絆を示すことは、地域の安定化に向けた我が国の意思と高い能力を示すものです。



災害時の人員輸送



米第5空軍司令官との会談



日米豪共同訓練

一般職試験(大卒程度)

一般職試験(高卒者)

防衛省専門職員試験(英語)

航空自衛隊の事務官・技官・教官の役割

航空自衛隊は自衛官だけの組織ではありません。自衛官約 43,000 人、**事務官等約 2,800 人(女性:約 1,000 名)**(令和 4 年 4 月 1 日現在)で構成されており、事務官等も重要な役割を果たしています。

採用区分の紹介

行政系: 国家一般職採用試験(大卒程度)(行政)、国家一般職採用試験(高卒者)(事務)
 技術系: 国家一般職採用試験(大卒程度)(技術)、国家一般職採用試験(高卒者)(技術)
 語学系: 防衛省専門職員採用試験(英語)



航空自衛隊には、事務に従事する事務官、技術に従事する技官、教育に従事する教官がそれぞれの分野で活躍しています。また、それらを総称して「事務官等」と言います。

ではなぜ、航空自衛隊に事務官等がいるのでしょうか。

Answer 1

“航空自衛隊の任務は自衛官だけでは遂行できない!”

航空機の操縦や弾道ミサイルへの対応といった「作戦運用」に直接携わるのは自衛官ですが、その任務を着実に遂行するためには事務官等の力も必要となります。

例えば、航空機を構成する装備品は故障もすれば、時がたてば消耗し交換が必要となります。また、航空機を動かすには大量の燃料が必要です。そして、これらの装備品を適切に取得・維持・管理していかなければ航空機は空を飛ぶことができません。

この装備品の取得・維持・管理等に関する行政事務・技術審査等を行っているのが事務官・技官になります。他にも航空自衛隊の任務を円滑に実施できるよう、更には自衛官・事務官等が安心して仕事をこなせるよう会計、厚生、人事業務など人的基盤を支える様々な行政事務があります。

これら業務を着実にこなすことで航空自衛隊の任務を円滑に遂行することができるのです。

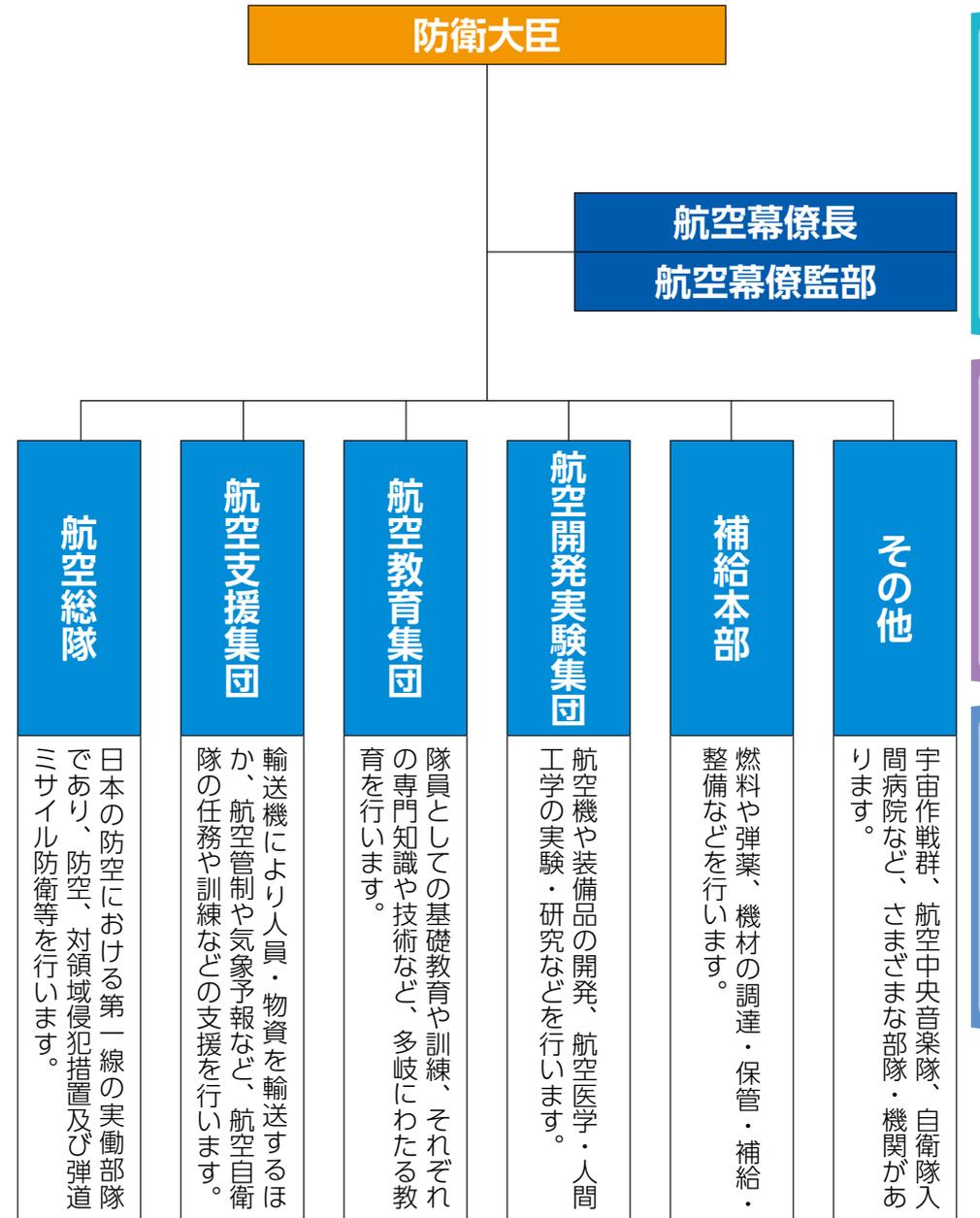
Answer 2

“組織の活性化へ”

多様な立場からの意見、視点等を取り入れ、航空自衛隊の任務遂行に反映していくことは、組織の活性化・進化に繋がります。そのためには、多様なフィールドで活躍する人材が必要です。

航空自衛隊の編成

航空自衛隊の基地及び分屯基地は全国に 73 箇所あり、各部隊等が高度に連携して任務を遂行します。



一般職試験(大卒程度)

一般職試験(高卒者)

防衛省専門職員試験(英語)

航空自衛隊の事務官等の勤務地や異動

航空自衛隊の事務官等は採用後、下図で示す基地において勤務することになります。※() 表記は分屯基地を示しています。

事務官・技官・教官の異動サイクル

職員の様々な状況や組織のニーズに応じて柔軟な勤務が可能となっています。優秀者は、基地での勤務経験を積んだあと 20 代後半を目途に航空幕僚監部で勤務することが期待されています。

■行政職事務官・行政職技官・行政職(語学) 事務官、教官

行政職事務官・行政職技官・行政職(語学) 事務官は各地方ブロックを単位とした人事管理となり、約 2～3 年、教官は 3 年～5 年を基準として行われます。なお、防衛省専門職員試験(英語) 採用者は、語学教官・事務官(渉外、情報収集・分析、行政事務など)を横断的に経験し、語学力を活かした様々な業務に携わります。

また、行政職技官は経験を積み研究職技官へ変わることもあります。

•行政職事務官の勤務地

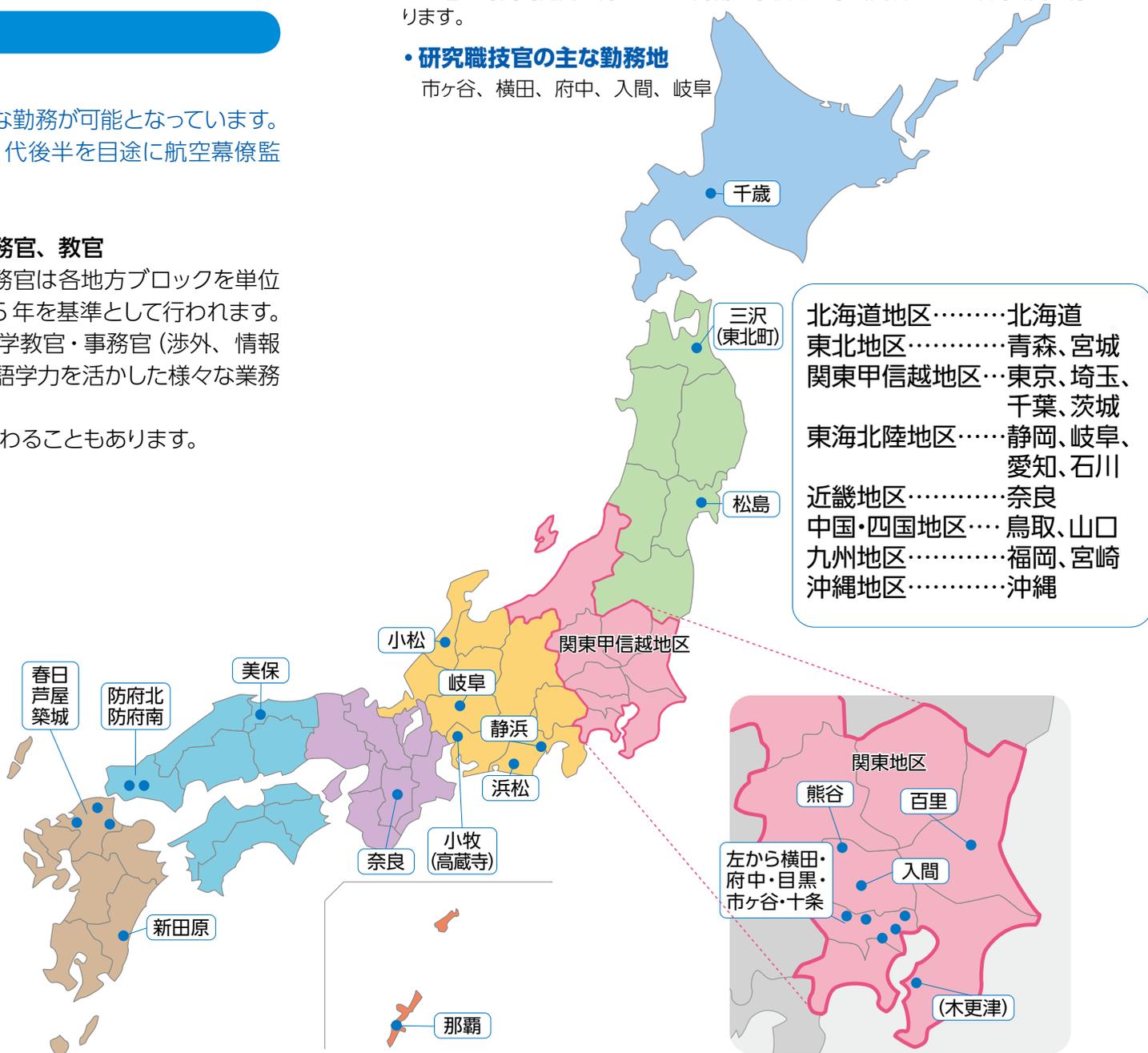
右の地図に示す、全国 28 箇所になります

•行政職技官の主な勤務地

市ヶ谷、十条、入間、岐阜、三沢

•行政職(語学) 事務官、教官の主な勤務地

市ヶ谷、横田、府中、三沢、那覇
小牧、奈良、防府北、目黒



一般職試験(大卒程度)

一般職試験(高卒者)

防衛省専門職員試験(英語)

業務内容の紹介（一般職試験（事務官））

採用区分：国家一般職試験（大卒程度）（行政）
国家一般職試験（高卒者）（事務）

航空自衛隊の防衛事務官は、主に以下の業務を行います。経験拡大のため、人事異動によってさまざまな業務を経験することが出来ます。



総務

行事の企画・実施、内外に対する広報、基地周辺住民との調整、庶務業務など



人事

事務官・自衛官の採用、退職、異動、昇給、昇格、表彰、懲戒に関する業務や人事制度の企画立案など



厚生

事務官・自衛官の福利厚生、共済組合に関する業務や公務災害に関する業務など



会計

航空自衛隊の予算、物品や役務の調達に係る契約業務や会計監査、会計書類の審査、隊員の給与、旅費に関する業務など



補給

航空機、レーダー、車両などを構成する各種部品の必要量の算定、在庫統制並びに出納及び保管に関する業務や品質管理に関する業務など



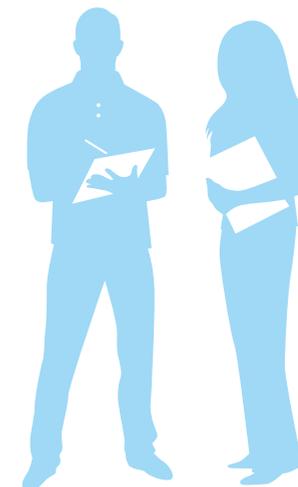
調達

航空機、レーダー、車両などを構成する各種部品の原価計算、契約に関する業務や調達物品の監督及び検査に関する業務など



法務

訴訟への対応、損害賠償処理や航空自衛隊の運用に関し発生する種々の法律問題への対応業務及び法規審査に関する業務など



一般職試験（大卒程度）

一般職試験（高卒者）

防衛省専門職員試験（英語）

先輩メッセージ (一般職大卒) (行政)

所属：第2航空団司令部監理部
 (北海道千歳基地)
 採用年度：平成28年度
 (一般大(行政))
 業務内容：法務



法律を駆使し、様々な課題に対処する

航空自衛隊の志望理由

学生の頃に安全保障の専門家から指導を受ける機会があり、就職先として防衛省を意識し始めました。陸海空それぞれの自衛隊の話を知りましたが、その時の職員の方々のアットホームな雰囲気に惹かれ、志望しました。

仕事内容

私の仕事は賠償や法律相談などの法務業務です。隊員が工作中に民間の方に損害を与えた場合は、法務が主体となって事実関係の調査、必要書類の作成、担当窓口間の調整等を行います。また、部隊や隊員からの法律にまつわる相談などにも対応しています。

仕事のやりがい

法務業務は、平たく言えば「部隊等で発生した(しそうな)法的トラブルへの対処(未然防止)に繋がる事務処理や相談対応、検討等」です。つまり、誰かが抱える悩み事の解決を手助けできるので、この点は大きなやりがいです。



入省前と入省後の印象

入省前は『戦闘機』の印象が強く、戦闘機に関する業務ばかりと思っていましたが実際に勤務してみると、輸送機やレーダーなど想像以上に多種多様な装備品と、それに従事する職務があることに驚き、『新しいものに会える職場だ』と、何度も実感しています。



私が航空自衛隊で勤務して良かった事

自衛隊法はもとより航空法や著作権法等、学生時代に触れる機会がなかった分野の法令を実務に即して学ぶことができたことです。法令の解釈は奥が深いですが、頼りになる先輩職員のサポートを受けながら成長を実感できました。



所属：補給本部情報処理部類別標準課
 (東京都十条基地)
 採用年度：平成28年度
 (一般大(行政))
 業務内容：補給



変化に怯まず、部隊のために最善を考える

航空自衛隊の志望理由

航空自衛隊は「日本の空を守る」という特色から、航空・宇宙という進展の目覚ましい分野について知見を広げることができると考え、航空自衛隊を志望しました。

仕事内容

私が所属している部署は現在、日本の装備品等の情報を世界に発信できるよう、制度やシステムの移行業務の一部を担っています。国際的基準に変更されたデータを航空自衛隊の業務データとして活用するために、日々調整を重ねています。

仕事のやりがい

人の役に立てたと感じたときにやりがいを感じます。装備品等の維持管理が私の仕事になりますが、データ管理一つにしても入力事項を極力少なくするよう計算式を作成することで、私の仕事だけでなく他の方の業務のサポートにも繋がり、役に立てたと感じることができます。



入省前と入省後の印象

防衛省は国防を担っているのだから整然とした雰囲気の中できびきび働くというのが入省前の印象でした。入省後様々な人と関わっていく中で気さくな方が多く和やかな雰囲気で働ける職場という印象に変わりました。

私が航空自衛隊で勤務して良かった事

公務員としての責任感や緊張感はありませんが、事務官という立場で航空機に関する業務に携わることができ、日本全国から集まった人達と交流できることで受ける刺激は特別なものだと感じます。



一般職試験(大卒程度)

一般職試験(高卒程度)

防衛省専門職員試験(英語)

先輩メッセージ (一般職高卒) (事務)

所属：中部航空警戒管制団司令部人事部
(埼玉県入間基地)
採用年度：平成 28 年度
(一般高(事務))
業務内容：人事



職員の公平公正な人事管理に努める

航空自衛隊の志望理由

官庁訪問の際、各機関の業務説明を受けましたが、中でも航空自衛隊の説明はとても親切で、ワークライフバランスについてもしっかりと説明して頂き魅力的に感じたことがきっかけです。

仕事内容

私は現在、人事業務に従事しています。事務官等の採用、退職、異動、昇給、表彰等の業務に携わり、いわば、職員の防衛省人生を預かっており、強い責任感をもって業務に従事しています。

仕事のやりがい

人事業務は幅が広く様々なことを行いますが、その中でも昇給や表彰といった業務は、適切に一人一人の評価を行うことで組織を活性化させるため、とても重要なことです。強い責任を伴う業務のため、大変なこともあります。上司や同僚と協力しながら日々の業務を行っていくことにやりがいを感じます。



入省前と入省後の印象

入省前は、自衛官と一緒に勤務するイメージが掴めず多少の不安もありましたが、入省してみると自衛官の方は気さくで、不安なことや分からないことも丁寧に教えてくれます。職場は活気に満ちており、とても明るく風通しの良い職場です。



私が航空自衛隊で勤務して良かった事

研修制度が整っていることです。入省して5年間に数回の研修があります。その研修の中で、自衛隊や業務に関する知識を学ぶことができ、同時に知り合いも増えます。知り合いが多ければ多いほど、協力し、時には切磋琢磨することができ、より一層やりがいを感じる事ができるため、航空自衛隊で勤務して良かったと思っています。



所属：第4補給処調達部契約課
(埼玉県入間基地)
採用年度：平成 29 年度
(一般高(事務))
業務内容：調達



心地よい職場づくりの貢献へ

航空自衛隊の志望理由

私の専門学校先輩が、一年先に防衛省へ入省しました。それを機に、防衛省ってどんな仕事をしているのか?自衛官と一緒に仕事するのか?と興味を持ち、航空自衛隊ってカッコいいと感じたことが一番の決め手です。

仕事内容

私は調達業務をしています。主な内容は、公募等の業者選定及び契約等について、書類上の手続きをサポートします。また、庶務係として、課員の出勤や休暇取得状況を管理しています。

仕事のやりがい

業務処置後に笑顔で「ありがとう」と感謝された時にとってもやりがいを感じます。また、目の前の仕事に満足することなく、この資料があった方が理解し易いかな?とプラス思考で仕事をこなせる職員を目標に日々勉強中です。



入省前と入省後の印象

入省前は、組織の堅いイメージがあり毎日が不安で緊張していました。しかし、現在は職場の適度なメリハリと温かさから毎日が笑顔に溢れています。今後も人との巡り合いを大切にしながら、過さずことをモットーにしていきます。

私が航空自衛隊で勤務して良かった事

私の周囲には、あんな人になりたい!という気持ちを与えてくれる先輩方が沢山います。先輩方は常に探求心を忘れず、毎日努力されています。そんな素敵な背中を後輩に見せ続けてくれるところが、航空自衛隊の魅力です。



一般職試験(大卒程度)

一般職試験(高卒者)

防衛省専門職員試験(英語)

業務内容の紹介（一般職試験（技官・研究職技官））

採用区分：国家一般職試験（大卒程度）（技術）
国家一般職試験（高卒者）（技術）

航空自衛隊の防衛技官は、航空自衛隊の保有する装備品等の調達、品質管理、研究開発、コンピューターシステムを駆使するなどの技術的分野で活躍しています。主に以下の専門的な職域に分かれ、仕事を行います。

行政職

技 術

航空装備品等の新規製造や改修等の契約において、仕様（機能、性能等）を示す必要があるため、運用する部隊等の要求に基づき各種諸元を作成します。また、契約相手方が行う設計や試験について審査を行います。

補 給 ・ 調 達

補給本部や補給処において、航空装備品等の補給・調達に関する業務を行います。



行政職技官において勤務・経験を積んだ後、研究職技官となり、宇宙、装備実験、能力分析などの業務を行うこともあります。

研究職

宇 宙

宇宙領域における研究職技官は、宇宙関連装備品の導入や運用に係る業務を担当しています。航空自衛隊の宇宙領域に係る取組みは緒に就いたばかりであり、装備品や運用に関する高度な知見が要求されるため、航空幕僚監部では国内外宇宙関連企業等と連携し、他国の実績や調査研究等を踏まえて要求事項を明確化した上で導入を進めています。また、宇宙領域専門部隊では、効果的な運用の実現に向け、運用要領の検討や装備品導入に伴う関係部隊との調整等を実施しています。



装 備 実 験

新規に導入する航空機や地上レーダーなどの装備品に対し、その安全性を確認するため、実物の航空機などを用いた動作の確認や性能の試験・評価を行います。

具体的には、航空機が安全に飛行するためには試験飛行を行う必要があり、装備実験系技官は試験チームの一員として、試験準備時には試験条件の検討や航空機の操縦要領を定めた手順書を作成し、試験終了後には試験結果の解析や解析結果に基づく評価を行う業務に携わります。



能 力 分 析

シミュレーションなどの数理科学的な手法による航空防衛力（戦闘機部隊、航空警戒管制部隊、地对空誘導弾部隊など）の幅広い分析を通じ、現有防衛力の不備・不足や装備品の増強・導入の効果を明らかにすることで、航空自衛隊の防衛力整備の計画立案に参画します。また、整備計画により取得した装備品を最も効果的に使用するための運用分析を通じ、部隊の戦力化や行動計画立案などにも参画します。



一般職試験（大卒程度）

一般職試験（高卒者）

防衛省専門職員試験（英語）

先輩メッセージ (一般職大卒) (技術)

所属：第2補給処整備部整備技術課
(岐阜県岐阜基地)

採用年度：平成31年度
(一般大(機械))

業務内容：航空機整備



日本の空を守る技術職

航空自衛隊の志望理由

国家公務員一般職という枠の中で、学んできた専門知識を最も活かすことができる職場について考えたとき、国家防衛に携われる防衛省、そして最前線で防空に携わる航空自衛隊が最もやりがいがあると考え、志望しました。

仕事内容

航空自衛隊の航空機が万全の態勢で任務を遂行できるよう、不具合(故障等)の解消や航空機部品の修理等について、現地部隊や関係部署、企業等と技術的な調整を行っています。



仕事のやりがい

航空自衛隊が保有している航空機に不具合(故障等)が発生した場合に、会社や現地部隊等多くの関係各署と連携し問題を解決していくことは、航空自衛隊以外では中々経験できない業務で非常にやりがいがあります。

入省前と入省後の印象

入省前までは、厳しくて怖い人が多い組織なのではと不安を感じていましたが、実際に入省してみると、上司や先輩だけでなく他部署の方も調整や相談に快く応じてくれ、とても話しやすい人が多い組織だと感じています。



私が航空自衛隊で勤務して良かった事

学生時代に学んだ機械工学の知識を活かし、航空機の技術的分野に携わる事で国防に貢献できることです。また、休暇も取得しやすく、プライベートも大変充実しています。



所属：電子開発実験群開発評価隊
(東京都府中基地)

採用年度：平成20年度
(Ⅱ種(機械))

業務内容：研究開発



装備品を使う部隊のパワーアップに貢献

航空自衛隊の志望理由

大学では機械工学専攻だったので、大規模な機械やシステムを運用する組織での仕事をしてみたいと考えたためです。また、当時親戚の自衛官に会う機会があり、非常に好印象だったのも後押しになりました。

仕事内容

私は、装備品の研究開発に関する業務を行っています。現在の職場では、全国各地のレーダーが捉えた情報を処理し、対領空侵犯措置や防空戦闘、弾道ミサイル対処などに対応するシステムに関する試験業務を行っています。また、試験で得られたデータを解析し、システム改善等について検討しています。

仕事のやりがい

研究開発部隊では、開発中の試作品や使用している装備品について、性能や操作性などの各種データを取得、解析しています。それらの成果がフィードバックされ、装備品を使用する部隊(運用部隊)のパワーアップにつながる大きなやりがいです。

入省前と入省後の印象

入省前は、航空自衛隊について、「航空機」の印象しかなく、航空工学系の人材の需要が多いのではと思っていました。しかし入省後は、レーダーなどの電子機器や情報処理系の様々な部署があることを知り、航空工学系だけでなく電気・電子・情報系の人材の需要も高いことが分かりました。

私が航空自衛隊で勤務して良かった事

良い先輩や同僚に出会えたことです。研究開発業務をはじめ、その他の業務経験に基づく先輩や同僚からのアドバイスは、日々の業務の大きな助けになっています。プライベートでは、おすすめの筋トレについてのアドバイスをいただいたこともあります。





採用区分：防衛省専門職員試験 (英語)

航空自衛隊は、英語の使用が必須となる任務が多々あるとともに、近年の防衛交流や共同訓練の活発化を受け、諸外国の要人等との防衛交流が年々拡大しています。このような中において、航空自衛隊の防衛教官・防衛事務官は、語学力を活かした以下の分野において仕事をを行います。



語学教育

英語が必要となる任務に当たる自衛官等 (パイロット、航空管制等) に対する英語教育業務など



渉外・通訳

高官等の通訳や諸外国の要人等と交流する際の企画調整や通訳等業務など



情報収集・分析

安全保障に関わる英文書・資料等の収集・翻訳業務など



行政事務

語学力を要する行政文書作成や米空軍を始めとする諸外国空軍との調整等の行政業務など

所属：作戦システム運用隊隊本部監理部
(東京都横田基地)
採用年度：令和3年度
(防衛省専門職 (英語))

業務内容：渉外通訳

「Live and learn (日々勉強)」

航空自衛隊の志望理由

在日米軍基地が地元にあったことから、以前から在日米軍と自衛隊との関わりや防衛協力について興味がありました。また、航空自衛隊は航空機の運用だけでなく新領域も扱っており、国防の最先端の現場で働けると思い志望しました。

仕事内容

主に横田基地に所在する在日米軍との調整業務、会議や行事での通訳、その他必要な資料の翻訳等、日米交流や防衛協力に係る多岐にわたる業務を行っています。また、自分でイベントの企画等を行うこともあります。

仕事のやりがい

英語・日本語を問わず人とコミュニケーションを取ることが多い仕事のため、様々なバックグラウンドを持つ人と関わる中で常に新しい知見を得ることができます。また、渉外業務は、裁量がある一方で責任も大きくやりがいがある仕事です。

入省前と入省後の印象

防衛省と聞くと閉鎖的なイメージがありましたが、想像していたより和気あいあいとした雰囲気です。自衛隊は独自の文化もあり、慣れるまでは大変なこともありましたが、自分には合っていたようで楽しく働いています。

私が航空自衛隊で勤務して良かった事

毎日新しい知識や人との出会いがあり、刺激的な日々を送っています。日米の航空機や装備品を間近で見ることができたり、普段会えないような人と働く機会があったりと、ここでしかできない体験が沢山あります。



一般職試験 (大卒程度)

一般職試験 (高卒者)

防衛省専門職員試験 (英語)

先輩メッセージ (防衛省専門職 (英語))

所属：航空幕僚監部防衛部事業計画第2課
(東京都市ヶ谷基地)

採用年度：平成29年度

(防衛省専門職 (英語))

業務内容：行政事務 (宇宙)



空へ、海外へ、そして宇宙領域へ

航空自衛隊の志望理由

留学時代に培った英語力と国際法の知識を武器として国防・安全保障の分野で活躍する人材になりたいと考え、防衛省の受験を決意しました。また、国際法形成の途上にある宇宙領域において日本にとって望ましい環境の醸成に寄与すべく、航空自衛隊を志望するに至りました。

仕事内容

宇宙法制協定の主任という立場で、宇宙領域における多国間連携の推進を行っております。1国のみでは対処できない安全保障環境上の課題解決に向けて、友好国との協力関係を構築すべく、世界地図を俯瞰した海外出張や諸外国の要人対応を行っております。

仕事のやりがい

宇宙に関する諸外国の情報収集や分析を行うとともに、宇宙軍関係者等とオンラインや対面による会議等を行うことで協力関係の構築に携わるなど、多国間連携の最前線において活躍できることに非常にやりがいを感じております。



入省前と入省後の印象

入省前、安全保障は堅苦しく複雑なものだと感じていました。しかし、入省後の今では、安全保障の基盤は「人」であると感じております。防衛の最前線で活動する人々の間で構築される信頼関係が、国家間の信頼関係を醸成していることを実感しております。



私が航空自衛隊で勤務して良かった事

初度配置の小牧基地では、語学教育を通じて基盤的語学力を形成し、通訳課程の入校(5ヵ月)では実戦経験を積むことが出来ました。現在の補職では、海外出張や高官通訳等の業務を通じ、段階的なキャリアアップができております。



登庁
8時20分



課業開始
8時30分



諸外国関係者との会議



昼食
12時00分



上司報告資料準備
13時00分



宇宙関係の情報収集・分析
15時00分



退庁
17時15分

所属：第12飛行教育団航空学生教育群
(山口県防府基地)

採用年度：令和2年度

(防衛省専門職 (英語))

業務内容：語学教育



英語の翼を授けて世界の空へ!

航空自衛隊の志望理由

日本の空を守るという唯一無二の任務に尊さと魅力を感じました。また、中学生の時から抱いてきた「語学力を活かした仕事に就きたい。」という夢があったため、防衛省専門職としての入省を志望しました。

仕事内容

将来のパイロットを目指している航空学生に、英語を教える仕事をしています。対面授業がほぼ毎日あるため、学生との絆が深まります。航空学生の英語能力を伸ばすことは他国との同盟の礎となることと信じ、私の仕事が安全保障に貢献しているとも感じています。

仕事のやりがい

若手であっても仕事を任せてもらえるため、責任とやりがいがあります。私は教職未経験でしたが、トライ&エラーを繰り返す中で、私自身も教官として成長を実感するだけでなく、学生の理解度が大きく向上した時や「授業が楽しい」と言って貰えた時の喜びはひとしおでした。



入省前と入省後の印象

「自衛隊」と聞いて非常に厳粛な職場をイメージしていました。しかし、いざ入省してみると、しっかりとメリハリを付けつつも、上司や同僚と談笑するなど適度にリラックスした雰囲気の中で勤務することができて安心しました。

私が航空自衛隊で勤務して良かった事

私の所属する部隊は、パイロットを始めとした様々な職域の隊員で構成されているため、多様な人々との繋がりを持つことができました。また、課外活動に参加する等、業務外においても積極的なコミュニケーションを図ることで、今後の勤務にも生かされる知識を得ることができました。



登庁
7時45分



課業開始
8時15分



授業



昼食
12時00分



授業
13時00分



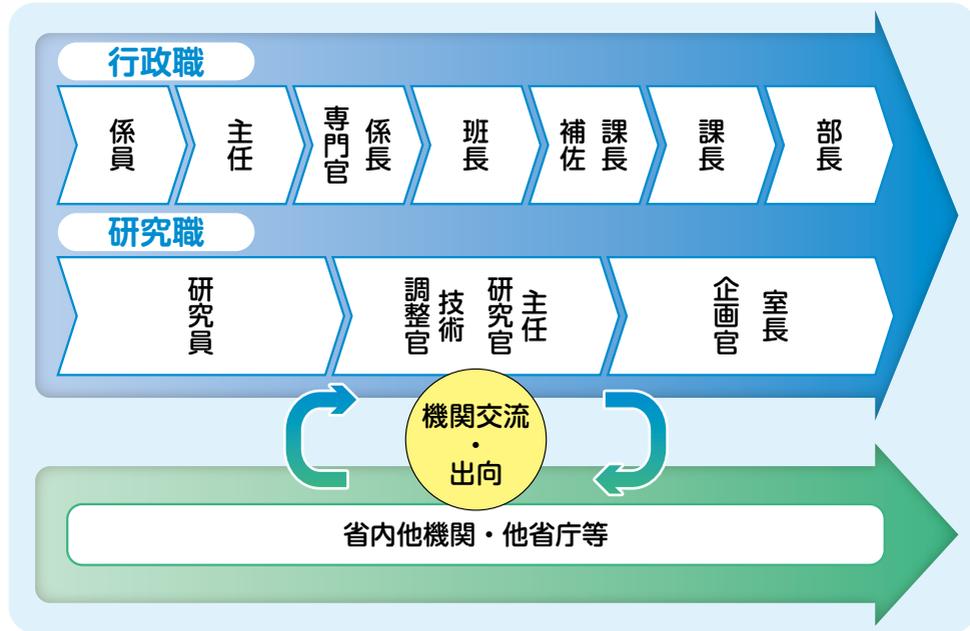
ミーティング
試験準備
15時00分



退庁
17時00分

キャリアパス

航空自衛隊の事務官等のキャリアパスの一例です。昇格、人事異動、研修などを通じ、計画的かつ継続的な管理を行います。また、省内他機関への交流や他省庁への出向の機会もあります。防衛事務官等として航空自衛隊でスタートを切った方々が、内部部局をはじめとする防衛省内のさまざまな機関や他省庁でたくさん活躍しています。



【係員級】

先輩職員から教育を受けながら実務に取り組んでいきます。



採用：平成 31 年度一般職（高卒）
北部航空警戒管制団司令部人事部
人事班幹部事務官等人事係

【係長級】

専門的知識・技術を習得し、問題点や課題に対応していきます。



採用：平成 21 年度Ⅲ種
北部航空方面隊司令部総務部人事課
職員人事管理室補任専門官

【班長級】

組織や上司の方針に基づいて、具体的な方策・計画を立案することや事業を実施します



採用：平成 8 年度Ⅲ種
第 3 術科学校第 1 教育部教官

【課長級】

組織方針に基づき、管轄する組織の状況を踏まえた実施計画を立案します。



採用：昭和 58 年度初級
航空教育集団司令部総務部人事課
職員人事管理室長

【部長級】

組織方針に基づき、行政ニーズを踏まえ、課題を的確に把握し、施策の企画・立案を行います。責任者として、コスト意識を持って適切な判断・運営を行うことが求められます。



【メッセージ】

現在、航空自衛隊で勤務する事務官等の人事管理全般を統括する仕事に携わっております。安全保障環境が厳しさを増し、宇宙といった新しい領域への対応も求められる中、航空自衛隊の活躍の場も益々増えていくと思います。意欲溢れる皆さんと一緒に仕事できることを楽しみにしています。

採用：平成 7 年度Ⅱ種（一般職（大卒）相当）
航空幕僚監部人事教育部補任課職員人事管理室長

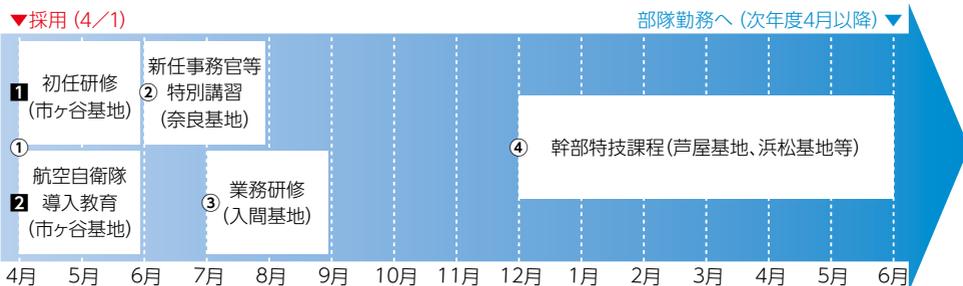
一般職試験（大卒程度）

一般職試験（高卒者）

防衛省専門職員試験（英語）

採用1年目の教育等について

一般職試験（大卒程度）（関東甲信越）採用者は、航空幕僚監部（市ヶ谷）において初度勤務（おおむね1年半）となります。この期間は、教育研修の期間であり防衛省・航空自衛隊の事務官等として必要な基礎知識を学ぶ研修（①、②）や、業務内容に応じた専門的知識の習得のための研修（④）があります。この期間は、同期とともに知識を蓄え、様々なことを経験し、2年目以降の実務の場で発揮してもらうこととなります。このようなシステムは、航空自衛隊独自のものです。2年目以降の配属先については、夏頃に実施する業務研修（③）と本人の希望と適性を踏まえ、決定されます。なお、一般職試験（大卒程度）（東海北陸）採用者は、直接基地等で採用され、実務を行いながら研修を受けてもらいます。



①-① 4月 初任研修（市ヶ谷基地）

①-② 4月 航空自衛隊導入教育（市ヶ谷基地）

防衛省の全機関の採用者が一堂に会する初任研修終了後、航空自衛隊の導入教育があります。航空自衛隊で勤務する上での心構えや1年目の流れをお伝えします。



② 6月～7月 新人事務官等特別講習（奈良基地）

幹部候補者としての心構えや航空自衛隊で働く上で必要な基礎知識を習得します。この講習期間中、部隊研修等も用意されています。

また、講習期間中は一緒に学ぶ同期と共同生活を行うことで沢山の同期と絆を深めることができます。



③ 7月 業務研修（入間基地）

防衛事務官等として携わる仕事の種類を決定するにあたり、基地で勤務する先輩からそれぞれの業務内容の説明を受けます（左下写真）。右下写真は、業務内容の説明を受けた後、補給や調達業務を通じ取得した物品等を保管する倉庫を見学しているところです。

この研修後、希望する業務を人事へ申告します。業務は秋頃に決定します。



④ 12月～6月 幹部特技課程（芦屋基地、浜松基地等）

③を踏まえ、決定した業務に係る専門的な知識の習得を行います。仕事を行う上で必要な法律や規則などは当課程で学ぶことが出来ます。

また、課程期間中は、一緒に学ぶ同期と共同生活を行うことで同期との絆を深めることができます。

課程終了後、その道のプロフェッショナルとして自信に満ちて仕事に邁進していきます。



①～④以外の期間（市ヶ谷基地）

航空幕僚監部でのOJT（実務教育）*

航空自衛隊の中枢であり、航空自衛隊全体を俯瞰できる環境で勤務（研修）します。

航空自衛隊の政策・企画立案から運用までの流れを間近で勉強しながら、自身の目標となる先輩も見つけていただきたいと思います。



※ OJT（On the Job Training）：職場で実務を通じて行う職業教育

人材育成（一般職試験（高卒者））

（採用後の教育等について）

一般職試験（高卒者）採用者は、直接基地等で採用され採用後すぐに新任事務官等講習（②）を受講します。その後、それぞれ配置された職場での OJT（実務教育）（③）により職務に対する知識を習得し、概ね 1 年後に初級特技員課程（④）において職務に関する専門的知識の習得を図ります。



① 4月 初任研修（市ヶ谷基地）

防衛省の全機関の採用者が一堂に会する研修です。防衛省で働く上での心構えや、安全保障に関する基礎的な知識、社会人としてのマナー講座等の教育を受けます。



② 新任事務官等講習（採用された基地等）

航空自衛隊の組織や任務、航空自衛隊で勤務する上での心構えや作法等、初級係員として必要な知識や技能を習得します。



③ 採用された部隊での OJT（実務教育）

職場の先輩からの OJT を通じ知識の習得をいつつ、部隊の即戦力として勤務します。
（採用されて、いきなり担当業務を与えられるのではなく、係員として先輩から仕事を教えてもらいながら勤務します。）



④ 2年目（1ヶ月半～3ヶ月程度） 初級特技員課程（芦屋基地）

航空自衛隊の学校にて、部隊等において実施してきた OJT を通じた実践的な知識に加え、仕事を行う上で必要な法律や規則体系等を多面的に学ぶことで更なる知識の深化を図ります。

また、課程期間中は一緒に学ぶ同期と共同生活をを行うことで同期との絆を深めることができます。



⑤ 初級事務官等講習 （十条基地、入間基地、浜松基地、岐阜基地等）

採用後 3 年以上の事務官等が、航空自衛隊の事務官等としての資質の向上を図るとともに、一般係員として必要な知識や技能を習得します。



人材育成（防衛省専門職員試験（英語））

一般職試験（大卒程度）の採用者と同様、初任研修を 4 月に受講し、航空自衛隊の事務官等として必要な知識と技能を学ぶため、航空自衛隊独自の講習（新任事務官等特別講習）を 6 月に受講します（P25 参照）。

その後もさらなるスキルアップのための研修機会があります。

「語学教育業務」に従事する教官は、必要な教育技術を学ぶため、航空自衛隊独自の教育を受講、さらに、米空軍が実施する英語教官のための教育課程を受けるため米国に留学することもあります（右写真参考）。

「渉外業務」に従事する事務官は、民間語学学校の通訳コースを受講するなど、通訳・翻訳を学ぶ機会があります。



ワークライフバランスへの取組

「育児・介護等の両立支援に係る取組」

航空自衛隊は、育児・介護等を担う隊員を含む全ての隊員が、性別等にかかわらず、ワークライフバランスを実現可能な勤務環境を整備します。特に、男性隊員の家庭生活への関わりを積極的に推進します。

【実施事項】

◆休暇の取得推進等

- ◇育児休業：男性 30%以上（令和 7 年度末までに。）
- ◇男性が育児に伴う休暇・休業（1 ヶ月以上を目途）を取得するための取組を推進
- ◇特別休暇：「Child Care 7」（配偶者出産特別休暇（2 日）及び育児参加特別休暇（5 日））の普及及び取得率 100%

◆育児休業取得者及び配偶者同行休業者の代替要員の確保

◆保育の確保

- ◇庁内託児施設の整備の推進
- ◇緊急登庁支援施策の推進

◆隊員の育児・介護等の事情に配慮した異動

「働き方改革」

航空自衛隊は、育児・介護等により勤務時間に制限がある隊員を含む全ての隊員が最大限に能力を発揮出来るよう、業務の効率化等による働き方の見直しを行います。

【実施事項】

◆職場における改革

- ◇部隊等の実情に合った働き方の見直し
- ◇民間力（コンサルティング会社）による隊務最適化
- ◇勤務管理及び休暇取得状況の適切な管理
- ◇年次休暇：年間平均取得日数 15 日以上

◆働く時間と場所の柔軟化

- ◇早出遅出勤務の一層の活用推進
- ◇フレックスタイム制の導入
- ◇テレワークの導入（順次拡大）
- ◇サテライト・オフィスの試行



ハラスメントのない職場環境づくり

航空自衛隊では、ハラスメント※防止に係る取組に努め、ハラスメントのない誰もが働きやすい職場環境づくりを推進しています。

※パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント、妊娠、出産、育児又は介護に関するハラスメント

【実施事項】

◆ハラスメント防止に係る取組

- ◇きめ細やかな教育
- ◇相談態勢の強化
- ◇コミュニケーションの活性化



～育児休業を取得した職員を紹介～



所 属：第 5 航空団司令部監理部
採用年度：平成 26 年度 一般職（大卒）
業務内容：法務



育休取得で家庭面もプラスに！

私は、公務中の事故等により他人に損害を与えた際の賠償業務などに携わっています。今回、約 3 か月間の育児休業を取得しました。育児休業中は、初めての沐浴、ミルク、おむつ替えなどに戸惑いながらも、子どもの様々な「初めて」を妻と一緒に立ち会うことができ、貴重な時間を与えてくださった上司や同僚に感謝しています。職場復帰後も家庭との両立を図るため、仕事が終わってからは、子どものお風呂や寝かしつけに参加しようと、定時に退庁できるように業務の効率化を意識するようになりました。そのため、仕事にも良い影響があると感じています。家庭も仕事も両立し、どちらも頑張りたいと思う方は、是非航空自衛隊で働くことを検討してみてください。



勤務条件

◆給 与：採用時の給与は、採用される職務、経験、勤務地等によって異なります。下記は、新規卒業者で東京都特別区に勤務した場合の一例です。

◇一般職（大卒程度試験）

行政職俸給表（一）1級 25号俸の場合 : 222,240円

研究職俸給表 1級 25号俸の場合 : 228,480円

◇一般職（高卒者試験）

行政職俸給表（一）1級 5号俸の場合 : 185,520円

◆手 当

◇扶養手当：扶養家族のある者に、配偶者月額 6,500円等

◇住居手当：借家居住者等に、月額最高 28,000円

◇通勤手当：交通機関等利用者に、1箇月最高 55,000円

◇その他：超過勤務手当等

◇期末手当・勤勉手当（いわゆるボーナス）：1年間に俸給などの
4.40ヶ月分

◆勤務時間

◇勤務時間：勤務時間は1日7時間45分、原則として土・日曜日及び祝日等は休みで週休2日制を実施しています。

◆休暇等

◇休 暇：休暇には、年20日の年次休暇（4月1日採用の場合、採用の年は15日。残日数は20日を限度として翌年に繰り越し）のほか、病気休暇、特別休暇（夏季・結婚・出産・忌引・子の看護・ボランティア等）、介護休暇があります。

◇育児休業等：子供が満3歳に達する日まで育児休業を、小学校就学始期まで1日2時間の育児時間をとることができます。

※法律の改正により、変動する場合があります。

福利厚生

基地内 施設

航空自衛隊の基地内には体育館、プール、グラウンド、テニスコートなど様々な施設があり、クラブ活動なども行っています。昼休みや勤務終了後に利用する事が可能になっておりますので余暇活動も出来るようになっております。また、コンビニや食堂などもあります。

体育館



グラウンド (サッカー・野球など)



プール



テニスコート



食堂



コンビニ



